

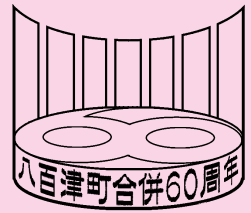
やさしさとみどりあふれる活気あるまち やおつ



やおつ

# 議会だより

No.161 2016.2



## 議場見学しました!!



2月8日(月)和知小学校6年生39人



1月29日(金)潮見小学校5・6年生3人

● 平成27年度一般会計補正予算案  
など全議案可決・承認

● 「郷土史研究家の育成について」  
ほか5氏が一般質問

平成27年第6回議会定例会は、去る12月7日に招集され、同月15日までの9日間の会期で開かれました。

本会議初日には、町長がユネスコ世界記憶遺産の本申請に向けて訪問した、リトアニア、イスラエル、フランスでの成果について、「岐阜県知事同行のもと、杉原サバイバーの方を始め、ユネスコ日本政府代表部の公使、ユネスコ本部の事務次長、記憶遺産関係委員の方々と面会し、8日間の訪問を通じて、本申請に向けてのご協力を得られるとの感触を得て、非常に大きな成果があったものと確信している。平成28年度の予算編成の基本方針として、「人口減少への対応と魅力あるまちづくり」を重点方針と定め、「安心でできる子育て環境の整備」や「魅力あるまちづくり」を実施するため、現在策定中の地方版総合戦略に基づく事業を積極的に展開するとともに、平成28年度中には第5次総合計画を策定し、次世代へ「つなぎ・つながる」まちづくりを目指します。」と述べた後、平成27年度一般会計補正予算案など提案理由の説明がありました。

続いて、執行部から提出議案13件（条例関係6件、予算関係5件、その他2件）の説明があり、質疑が行われた後、総務民生常任委員会と建設文教常任委員会に、それぞれ議案の審査を付託し、散会しました。

本会議最終日の15日には、一般質問を行い、「郷土史研究家の育成について」、「『まち・ひと・しごと創生』総合戦略について」、「ゴミ袋について」、「人口減少対策について」、「八百津高等学校の存続について」など5名の議員が質問席に立ち、町長をはじめ執行部の見解をいただきました。この様子はCNetチャンネルにおいて生中継と録画放送がされました。続いて、各常任委員会委員長から、付託された案件について審査の経過及び結果の報告があり、採決の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

次いで、追加提案された議員提出議案第1号「岐阜県立八百津高等学校の存続を求める意見書の提出について」を原案のとおり可決して今定例会を閉会しました。

ごんないびが決まりました

条例

▼八百津町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

マイナンバー法の施行により、法律に規定する事務以外に独自に特定個人情報を利用できる事務、複数事務間の特定個人情報との連携、実施機関が異なる機関への提供について定めるための条例を定めるものです。

- ▼被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例  
被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、関係条例の一部を改正するものです。
- ▼八百津町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例  
八百津町税条例等の一部を改正

議会日誌

10月1日  
12月31日  
の間

- 3日○八百津・錦津保育園運動会
- 7日○清流パワーエナジー水素ステーション起工式
- 8日○可茂地区一般ゲートボール選手権大会
- 9日○県町村議会議長会定期総会・正副議長研修会
- 10日○しおなみ苑ふれあいまつり
- 第39回全国育樹祭懇談会
- 11日○第39回全国育樹祭
- 15日○老人クラブ連合会軽スポーツ大会
- 16日○和知小学校公表会
- 18日○和知地区民運動会
- 八百津地区「ふれあいスポーツ広場」
- 19日○議会全員協議会
- 22日○可茂地区市町村別グラウンドゴルフ大会
- ※例月出納検査
- 23日○小型動力ポンプ付積載車引渡式（第4分団）
- 加茂郡神社関係者大会
- ※定例監査
- 24日○町ちびっこ広場
- 30日○可茂町村議会議長会
- 〔11月〕
- 1日○南知多町産業まつり

正する条例の「法人番号」の定義を各税目別に規定するため、条例の一部を改正するものです。

▼八百津町介護保険条例の一部を改正する条例

マイナンバー法の施行により個人番号を利用した事務が開始されることから、条例の一部を改正するものです。

▼八百津町小口融資条例の一部を改正する条例

中小企業信用保険法が改正され、小規模企業者にNPO法人が追加されたことから、条例の一部を改正するものです。

▼八百津町工場誘致条例の一部改正する条例

八百津町工場誘致条例の奨励金の算出基礎となる固定資産税の額について、八百津町固定資産税の特例に関する条例の適用を優先するため、条例の一部を改正するものです。

予 算

▼平成27年度八百津町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額に各1億7067万3千円を追加し、61億6310万5千円とするものです。主な内容は次のとおり。

総務費：ふるさと応援寄付謝礼、サイト運営手数料等で2337万1千円、庁用自動車購入費757万2千円、自主運行バス運行費負担金等で41万4千円、選

挙人名簿電算処理委託料117万円の追加。

民生費：障がい者生活介護自立支援費、就労継続支援自立支援費、児童発達支援費で1726万2千円、過年度分国県支出金返還金698万2千円、臨時職員賃金等で55万2千円、町外保育園保育委託料等で482万9千円の追加。

衛生費：医薬材料購入費110万5千円の減と乳幼児医療機関予防接種委託料255万円の追加。

農林水産業費：有害鳥獣捕獲助成金273万5千円の追加。

商工費：ユネスコ記憶遺産登録推進協議会委員報酬、杉原千畝リレーシンポジウム等旅費、英語版記憶遺産リーフレット印刷製本費等で75万6千円、工場誘致条例奨励措置交付金1077万円、記念館入館券とパンフレット印刷製本費等で155万8千円の追加。

土木費：県道改良工事等負担金750万円の追加。  
消防費：団員退職報償等で210万6千円の追加。  
教育費：通学用自動車運転業務委託料、スクールバス車両購入費等で44万7千円、指定文化財保護費補助金、ファミリースターエレベーター改修工事等で1598万8千円の追加。  
諸支出金：国民健康特別会計他3特別会計操出金2618万1千円の追加。

人件費：給与制度の見直し並びに人事異動等に伴う人件費の調整によるもので、給与費、職員手当等、共済費で2345万円の追加。

財源は、国庫支出金893万1千円、県支出金1668万3千円、寄付金4万円、繰入金2402万2千円、諸収入396万6千円、一般財源1億1700万1千円となっております。

▼平成27年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に各々7000万円を追加し、17億1660万円とするものです。

一般被保険者療養給付費負担金4350万円、一般被保険者高額療養費2650万円の追加。

財源は、国庫支出金112万6千円、一般会計繰入金1852万7千円、基金繰入金1364万6千円、繰越金3670万1千円となっております。

▼平成27年度八百津町介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に各々72万円を追加し、12億5978万5千円とするものです。

給与制度の見直し並びに人事異動等に伴う人件費の調整によるものです。

財源は、国庫支出金28万円、県支出金14万円、一般会計繰入金14万円、基金繰入金16万円となっております。

▼平成27年度八百津町簡易水道

事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に各々160万円を追加し、1億5140万円とするものです。

篠原配水池、中配水ポンプ場建設のための用地購入費、補償費です。

財源は、一般会計繰入金となっております。

▼平成27年度八百津町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に各々591万4千円を追加し、3億8771万4千円とするものです。

消費税支払額に不足を生じたことによるものです。

その他

▼財産の取得について

水源林公有化支援事業により山林を取得するため、関係条例の規定により議会の議決を求めらるるものです。

- 種別 山林
- 数量 192, 488㎡
- 方法 随意契約
- 価格 2000万500円
- 相手方 可児郡御嵩町比衣176番地1 吉田廣美

▼岐阜地域児童発達支援センター組合規約の一部を改正する規約について

○eikamonまるごと環境フェア2015

○ふれあい歩け歩け大会

○潮南へぼ祭り

○政権与党国会議員との意見交換会

○町産業文化祭開会式

○岐阜県浄化槽連合会大会

○町村議会議長全国大会

○人道の丘ジョギング大会

○可茂地域市町村議会議員研修会

○町内小学校音楽会

○人権講演会

○議会全員協議会

○福地中森神社新嘗感謝祭

○御嵩町制施行60周年記念式典

○「杉原千畝」シンポジウム&試写会

○中濃地域農業共済事務組合議会定例会

○「12月」

1日○県町村議会議長会評議員会

2日○名鉄広見線活性化協議会

4日○議会運営委員会

5日○「メノラの灯」上演会

7日○議会全員協議会

○第6回議会定例会開会

9日○建設文教常任委員会

10日○総務民生常任委員会

13日○町社会福祉大会

15日○議会全員協議会

○第6回議会定例会閉会

25日○可茂広域行政一部事務組合議会定例会

27日○年末夜警巡視

※例月出納検査

美濃加茂市の岐阜地域児童発達支援センター組合脱退に伴い、同市を組織する地方公共団体等から削除するとともに用語の整理を行うため、規約の一部を改正するものです。



## 議員提出議案

本会議最終日に議員から提出された議案は、採決の結果、次のようになりました。

▼「岐阜県立八百津高等学校の存続」を求める意見書の提出について

〔提出議員〕山田議員ほか3名  
〔結果〕賛成全員により可決  
〔意見書は最終頁に掲載〕

## 主な質問と答弁の要旨

加藤良治 議員

### Q1 郷土史研究家の育成について

郷土史研究者の育成と方針は

**問** 町内の郷土史研究会や各地域の郷土史家、八百津の語り部などの現状は、高齢化とともに担い手の育成が待ったなし状況にあり、次の項目について伺う。

①郷土史研究者、学芸員あるいは、郷土史家の育成の方策について。

②地域の郷土史家や個人貯蔵の郷土歴史資料等を継続的かつ専門的に編成管理を行う人材の必

要性について。

**答** (堀部教育長)  
郷土史研究者・学芸員あるいは、郷土史家の育成の方策については、3つのことを考えております。

1つ目は、郷土の歴史等の講座の開設です。八百津町には、歴史や文化財などに精通した方がおみえになります。それらの方を講師として招き、「八百津の歴史等」の講座で講義をしていただくことを考えております。

2つ目は、歴史や文化財など熟知してみえる方に地域の先生として、学校で授業を行っているなどということ。子供たちが、郷土の文化や伝統とかかわりを深めることで、自分の生まれ育った地域、八百津への誇

りと感謝の心が生まれ、未来の歴史家の育成につながると考えております。

3つ目は、ファミリーセンターのロビーに郷土の歴史等の資料コーナーを設置するということです。そのことで、郷土の歴史や文化財等を身近に感じる人が増えてくると考えております。

次に、専門的に従事する人材については、現在、教育委員会では、非常勤で民俗資料を整理している方を1名雇用しております。専門的な知識等を有している人材の雇用については、今後、検討したいと考えています。また、他市町村の学芸員との連携も今まで以上に図ることを考えております。

### Q2 逆巻地区の排水路等改良計画について

中長期的な改良計画は?

**問** 甚大な被害を起こした、平成22年7月15日の豪雨災害、翌年の台風でもこの地域では、米山寺川の氾濫により、複数の床下浸水などの被害が発生した。それ以降、歴代の自治会長によって道路側溝や雨水排水路の改良工事の要望書が提出されている。5年という月日が経過しようとする現在でも、改良工事が実施された箇所がないが、中間整備事業をはじめ、この地域

の中長期的な改良計画について伺う。

**答** (山田建設課長)  
逆巻自治会から、平成24年度より排水路改良工事の要望を5カ所いただいておりますが、県が施行主体である中山間地域総合整備事業の中の逆巻排水路改良工事としては、延長155mが採択されております。しかし、この中山間事業は、平成27年度から平成31年度までの5ヶ年で行う事業であり、施行年度は未定です。その他の箇所につきましては、自治会のご意見を伺い、中山間地域総合整備事業の進捗状況を見ながら、予算の範囲内で下流から中長期的に進めていくよう、検討していきたいと考えております。

**問** 中山間地域総合整備事業により最流末の改良工事が採択されており、平成31年度改良工事については、進捗状況を見ながら予算の範囲で検討していくとのことだが、更に5年間ということは、この地域の住民に待つて下さいとお願いすることを意味している。

そこで提案ですが、専門的な調査の結果や改良箇所の有効性、重要度などの優先順位を共有できるように自治会との定期的な政策懇談の場を実施していただきたいが、考えを伺う。

**答** (山田建設課長)  
今回の調査結果や計画については、自治会に對しても説明し、ご理解をいただきながら進めたいと考えております。また、その中で自治会での優先順位や要望等をお聞きしながら、重要な箇所から進めていきたいと思っております。

柘植清貴 議員

### Q1 「まち・ひと・しごと創生」総合戦略について

策定状況及び構想内容は?

**問** 八百津町において、総合戦略の策定が「八百津町総合戦略会議」で進められています。が、次の3点について伺いたい。

①現在の総合戦略の策定状況と答申に向けての今後のスケジュール及び今年10月末までに策定した団体に交付される交付金について伺う。

②総合戦略会議には、町民の公募参加による「やおつ創生 まち会」が参画する体制になっていますが、今後、どのように関わっていくのか伺う。

③総合戦略創生は、まち・ひと・しごと創生です。この中で、仕事づくりが大きなウェイトを占めるものと考えますが、「しごと創生」についての基本的な戦略構想について。また、総合戦略

事業が平成28年度予算編成にどのように盛り込まれるのか伺う。

**答** (青山総務課長)

現在の策定状況につきましては、12月4日までに計4回の「総合戦略会議」を実施するとともに、役場内組織としての「総合政策推進会議」において施策の検討を行ってまいりました結果、おおよその素案ができ上がりました。今後は、この素案をもとに一部見直しを行い、パブリックコメントを実施し、来年1月中旬に「総合戦略会議」より町長の方へ答申をしていただきたいと考えております。また、議員ご質問の「今年10月末までに策定された団体に交付金が交付される」ということにつきましては、上乘せ交付金タイプIの先駆的業務分に2つの事業を申請しましたが、残念ながら不採択という結果となりました。

次に、「まち会」についてのご質問でございますが、今回は新たな試みということで、この総合戦略の推進体制の一つの組織として、「やおつ創生 まち会」を8月に発足させました。広く町民や八百津町に思いのある方を公募し、現在40名の方と役員職員有志15名の計55名がメンバーとして登録していただいております。

現在「まち会」では、施策の提言というところまでは達しておりますが、「総合戦略会議」の委員の一人として、「まち会」のファシリテーターの方にも加わっていただいておりますので、これまでのご意見を少しでも、総合戦略の中に組み込ませられるよう取り組んでいます。また、総合戦略策定後におきましては、PDCAサイクルにより、計画・実施・評価・改善を繰り返し行い、継続的に改善していく形を構築していくこととしております。評価や改善を行う中で、「まち会」からの提案や議会をはじめ、皆様のご意見も反映させていくよう進めてまいります。

最後のご質問の「しごと創生」についてでございますが、具体的な施策につきましては、農産物ブランド化の推進、再生可能エネルギーの推進、空き店舗の利活用、新規就農・就業者への総合的支援などを挙げております。また、平成28年度の予算編成に具体的な事業の反映や計上についてのご質問につきましては、新年度予算の各課の査定が終わり、ある程度総合戦略にかかわる予算内容も確定してまいりましたら、議会の皆様にもご説明していきたくと考えております。

## Q2 「ユネスコ記憶遺産登録」について

現況と今後の日程・計画は?

**問** 杉原千畝氏の関連資料がユネスコ記憶遺産の国内候補に選ばれたことは、八百津町にとつて大変名誉であり、喜ばしく思う。また、「人道のまち 八百津町」として国内外に大きくアピールできるものと考えているが、ユネスコ記憶遺産国内候補となった現在の状況と、今後の登録に向けての日程・計画について伺う。

**答** (山内タウンプロモーション室長)

国宝の伊能忠敬測量記録・地図など国宝級の物件16件の申請があり、その中からユネスコ本部へ申請できる日本代表の2件に上野三碑とともに9月24日に選定され、日本ユネスコ国内委員会が高い評価をいただきました。その後、ユネスコ世界記憶遺産に精通する国内でも数少ない有識者の方を委員としてお願いし、「杉原リスト」ユネスコ記憶遺産登録推進協議会を設置し、この推進委員会を中心に申請書のブラッシュアップを行っております。

具体的には、アメリカのホロコースト記念博物館やイスラエルのヤド・ヴァシエムが、所蔵しております資料の中に何点か杉原ビザがあります。このビザを具体的に開示いただき、その情報も申請書の中に織り込みたいと作業を進めております。また、世界中に散らばっている杉

原ビザの情報も同じように集めております。

今後もユネスコ国内委員会や推進協議会の委員の皆様のご助言をいただきながら、来年3月には、ユネスコ本部へ申請書を提出し、2017年夏頃、登録可否について決定される予定となっております。日本代表の2件として、登録されるように最善を尽くしております。

**問** ユネスコ記憶遺産登録を「人道や博愛精神の発信」や「八百津町の活性化」に向けてどのようにつなげていくのか伺う。

**答** (山内タウンプロモーション室長)

当町は、杉原千畝氏の生誕地であるという世界へ誇るべきオンラインワンの特徴があります。まずは、このユネスコ世界記憶遺産登録に絡めて、当町を知っていただくことが重要であると考えます。「杉原千畝の精神を全国的に打ち出したい」と思っています。それにより、当町も知られ、多くの方が来町され、特産品や食べ物なども消費され、地域経済が潤っていくものと考えられます。

しかし、一番の目的としましては、当町で暮らす人々が「やおつ」の素晴らしさを再認識していただくことが、町の活性化につながるものと考えます。そこに暮らす町民の皆さんも、日々

暮らす中に素晴らしい景観や文化があることに気づき、郷土愛や誇りがかり立てられ、それが地域の活性化につながっていく。また、杉原ビザの情報は全て収集し保管することで、アメリカのホロコースト記念博物館やイスラエルのヤド・ヴァシエムと並び、世界中から一目おかれる記念館になっていくものと考えます。一過性に終わらず、世界中から当町の杉原千畝記念館へ来館していただけるような施設を目指すことにより、将来にわたつて当町の活性化に寄与していけるものと考えます。

**問** 赤塚町長はユネスコ記憶遺産登録に向けて、この半年間、精力的に働きかけや活動をされてきたが、その思いを伺いたい。

**答** (赤塚町長)

昨年の秋にこの世界記憶遺産のことを知って以来、東京の有志の方々や、多くの町民の皆さん方のご理解、ご協力を得ながら本日まで活動してまいりました。今後は、特に3月の世界ユネスコ協会本部へ、より良い本申請ができるよう行っていきたくと思っておりますが、杉原ビザはその内容が極めて個人的な情報を含む秘匿性の高いものであることから、収集及び公開には、提供者のご理解を得る必要があると考えております。

また、10月30日から8日間、

古田岐阜県知事と一緒にヨーロッパを訪問し、杉原サバイバー数名の方と面会をいたしました。

その時のお話では、「今、自分がここに居るのは杉原ビザのおかげです。もしこのビザがなかったら、今の自分はないでしょう」と切々と訴えられておりました。

織細で貴重なバスポートではありますが、お話をさせていただいた方からは、喜んでバスポートを提供していただけることとなっております。そして、イスラエルのユダヤ教の学校を訪問した際も、「自分の身内もこの杉原ビザのおかげで助かりました」と私に握手を求めてくれた方もありました。

今後については、こういった方々のご協力の中で、3月の本申請に向けて頑張っていきたいと思っておりますし、八百津町の発展につつましても、「センポ・スギハラ」は知っているが、岐阜県八百津町は知らないということを耳にしたことがありますので、これを契機に岐阜県と八百津町を知っていただくことも重要であると考えております。幸いに、観光面においても高山市や金沢市、敦賀市、白川村等、広域観光ルートを高山市長が提案されており、当町も賛同いたしますと返答しております。そういった広域観光ルートの中に八百津町を取り入れていただき、多くの観光客の方にも来町して

いただき、町の発展につなげていきたいと考えております。

また、町民の方々にも杉原千畝氏の生誕地であることに、もっと誇りを持っていただき、ご理解を得ながら頑張りたいと思っております。

今のところ、国内候補の2件に選ばれたということは、名誉なことであると同時にその責務は非常に大きいものであり、その責務をしっかりと果たすため、3月の本申請に向けて、東京の有志の方々を協力し、頑張つてまいりたいと思っております。これから2年弱の月日が必要となりますが、その間にぜひとも世界遺産の名誉を受けたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



### 長谷川泰幸 議員

## Q1 7リットル袋について

### 料金の見直しは?

**問** 今までも何度となくこのゴミ袋については、討論されてきました。しかしながら、町民からは負担が大きいのとの声がいまだ多く、毎日の生活に直結する重要な利用料金のことであるため、町民の理解を深めるた

めにも、しっかりととした説明が必要と考えます。現在のゴミ処理費用の状況、近隣市町村のゴミ袋料金、今後のゴミ袋料金の考え方について伺う。

### 答 (渡辺水道環境課長)

近隣市町村のゴミ処理手数料の状況を可燃ゴミ袋(大)1枚あたりで見ますと、美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町が30円、川辺町が50円、御嵩町、七宗町が70円、東白川村が80円、当町、白川町が100円となっております。

昨年から今年にかけては、3町が値下げをし、1町が値上げをしています。また、2市につきましては、真剣に値上げを検討して見えます。

ゴミ処理費を検証しますと、平成26年度的一般家庭から排出された可燃・不燃ゴミの処理費は、全部で1億410万円ほどで、ゴミ処理費をゴミ袋1袋当たり換算すると436円ほどとなります。また町民の皆様からいただいたゴミ処理手数料(ゴミ袋の販売)収入は、214.9万円ほどとなり、一般財源では82.61万円を負担したということになっております。

ゴミ処理費用の大半は、可茂衛生施設利用組合の負担金であり、その内容として廃棄物の処理運営費と施設建設費があります。最終処分場の埋立状況によつては、第3期・第4期の工事は

が予定されており、施設建設費の負担が増大すると思われれます。

今後、ささゆりクリーンパークの改修完了、最終処分場の埋立状況等、ゴミの減量化、あるいは資源リサイクル化が更に進み、負担金が平準化となった段階におきまして、組合加入市町村の状況等も勘案しながら、ゴミ処理手数料の見直しが図れればと考えております。

### 問

他の市町村はプライバシーの関係からか、白い袋もあるが、八百津町の袋はなぜ半透明なのか。その理由について伺う。また、町民の方からは、八百津町の袋の強度はどうかとの声をよく聞くので、袋の強度についても伺いたい。さらに、袋の表記について、美濃加茂市の袋には、一袋のゴミ処理費用の金額が表記されている。袋の表記等の変更ができるのか伺う。

### 答 (渡辺水道環境課長)

現在、当町のゴミ袋は乳白色の半透明となっております。これは内容物が目で確認できる程度になっており、プライバシーに配慮するとともに、回収業者や処分場で不燃物等の異物の混入、危険物がなくかを確認する必要があります。そのため可茂衛生事務組合の統一ルールとなっております。

次に、強度については、管内市町村のゴミ袋は、サイズ・厚さ・材質をある程度統一してお

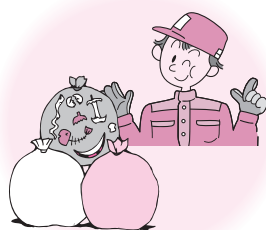
り、そのように作成されています。ゴミ袋の強度は、材質を高密度ポリエチレンに低密度ポリエチレンを配合すれば、裂けにくく、伸びやすくなりますが、作成費用は高くなります。この材質で現在作成されている市町村がございまして、問題等がないか調査し、次回作成する際には参考にしてまいりたいと思っております。

次に、表記については、町民の皆様にご理解いただくためにも、次回のゴミ袋作成時から実施してまいりたいと思っております。今後もゴミ処理費用の負担について町民の皆様にご理解いただけるよう広報等で努めてまいります。

## Q2 杉原千畝記念館の来館者への今後の対応について

### 状況及び今後の対応は?

**問** 八百津町出身、杉原千畝氏の偉大な功績が日々大きくメディアに取り上げられ、町外からも多くの方が来館されているが、現状では十分なおもてな



しができると思えません。八百津町にとって、千載一遇のチャンスと思われるが、今後、どのように対応していくのか、次の5点について伺う。

①現在の入館者数、各種売上げの報告と現場での対応、意見について

②休館日の対応について

③商店街や杉原千畝記念館への誘導標識等、観光ルートの対応について

④杉原千畝記念館近辺で観光客のための希望者による八百津町の特産品のテント販売、さらには、町内買い物割引券などの町の利益につながるような販売促進について

⑤リピーターを確保するためのイベント施策、魅力づくりとしての総合的な計画について。

現在の入館者数については、

4月以降11月末までに3万6750人、入館料収入は84万5千円となっております。また杉原千畝記念館でのグッズ販売の売上げ状況については、4月から11月までにグッズ・図書販売が151万5千円ほどとなっております。

杉原千畝館長及び国際交流員、3人のパート職員により対応しておりますが、杉原千畝氏の人間愛を伝える記念館として、お客様に不快な思いを与えないよう、清潔さ、美しさを保つてい

けるよう努力しております。また、杉原千畝氏のごことに非常に熱心なおお客様も多く、専門的なご質問もあり、杉原千畝記念館の持つ使命の大きさに、非常に気を配って対応している状況です。

次に休館日の対応についてですが、せっかく多くの方が訪れているこのときを逃してはいけません。月曜日の休館日に間違えて来てしまう人も多くあり、休館日も開館したらどうかという声を耳にしております。映画公開真っただ中のちょうどこのときのデータが大切だろうという思いもあり、昨日は休館日でしたが、杉原千畝記念館の内部資料の整理も兼ねて職員を配置し、来館者の調査を行いました。結果については、19組43人の来館があり、県内12組27人、県外7組16人でした。

今後も展示の質を常に高め、館内も常に清潔に保ち、飽きられないより良い施設として存続させていくためには、多くの博物館・資料館でも休館日があることをまずご理解いただけたらと思います。また、休館日における来館者の調査や開けることへのメリット・デメリット、対応するための人員配置についても検討しながら、休館日の対応については判断していきたいと考えております。

次に八百津商店街への観光客

のルートづくりについては、タウンプロモーション室において、杉原千畝生家跡地の看板を作成中です。来年早々には設置の見込みで、これを商店街への誘客のルートづくりの一つとしたいと考えております。

また、杉原千畝記念館においても全ての来場者に入場券と一緒にスタンプラリーのパンフレットをお渡しし、積極的にご案内していく予定です。

そして、ふるさと応援寄附金では、寄附者全員にお礼状とあわせて、1年間有効のパスポートを送り、さらには、今回、「八百津町周遊2日間春の旅」というものを、お礼の品に加えさせていただきます。

商店街への案内看板については、ネーミングやデザインも含め、総合的なプランの中での取り組みが必要かと思っておりますので、商工会とも連携をとりながら検討していきたいと考えておりますし、のぼりについては、傷みが激しい商店街街路灯タペストリーの新調と、ユネスコ世界記憶遺産に向けてののぼり50基を作成するため、今回の補正予算に上げさせていただきます。

また、広域的な観光ルートづくりについては、高山市、敦賀市、金沢市、白川村、そして八百津町の5市町村連携による外国人向け、観光コース「杉原千畝ルート」の商品化を進めてお

ります。9月には、福岡市で開催された「杉原千畝展」に展示協力し、九州の旅行社による八百津町と敦賀市をめぐるツアーが企画され、3月には九州からのお客様も来ていただけることになりました。今後もタウンプロモーション室と連携し、積極的に行っていきたいと考えております。

次に町の利益につながるような販売促進については、現在、割引券の企画はありませんが、商店街の皆さまからもアイデアあふれる企画のご提案がありましたら、町も積極的に協力し、プランづくりについても一緒に進めて取り組んでいくつもりです。

また、ふるさと応援寄附金には特に力を入れており、お礼の品を八百津町産、全てオンリー八百津にこだわっています。これにより4250万円が町内の事業者や農家の方々への還元となることから、町内への経済効果に大きく寄与していることとなり、これによるブランド商品開発にも取り組んでいるところ

です。特産物のテント販売については、観光協会では「八百津マルシェ」と名づけ、八百津町の観光案内や特産品販売などの取り組みに向けて、今動き出しております。また、国道418号沿いのファミリーセンター入り口の第

4駐車場に、テント村をつくらどうかと考えています。行楽シーズンの休日や季節ごとに開催し、このテント市場を拠点に、商店街も一体となったイベントを打つのも良いのではないかと考えております。

次にリピーターの確保については、「八百津町観光振興計画」を2013年に策定し、「八百津へまた訪れたい」と思われる魅力に満ちた観光施策を目指し、計画に基づいた年度別のアクションプランを定め、多くの取り組みを始めています。

杉原千畝記念館は、ここ数年は多くの来館者があるものと考えますが、やはりこのままでは限りがあり、そのため施策として、記念館の展示のリニューアルや特別展の開催が考えられます。タウンプロモーション室では、ユネスコ世界記憶遺産への登録を目指している「杉原リスト」20点のパネルを製作しており、命のビザなど申請資料のレプリカの製作を進めております。これを杉原千畝記念館で常設展示や数年一度「命のビザ」のオリジナル展示をメインとした特別展など、インパクトの注目も必要です。さらに、杉原千畝氏の新しいホームページを制作中ですので、ホームページとも連動した杉原千畝記念館として、常に新しいニュースを発信していく計画です。

# Q1 人口減少対策について

## 対策と専門職員の配置を

**問** 若い世代の定住・移住を促進しなければならぬことは、町民の理解するところであり、早急に取り組まなければなりません。そこで、二つの提案をいたします。

一つは、来年の秋に予定されている「やおつトンネル」の開通を見越して、伊岐津志地区、野上地区において宅地開発を進めてはどうかというものです。

宅地開発の方法は、町土地開発公社、民間との共同、行政が制度面等で後押しし、民間開発を促す方法でも良いと思います。トンネル開通後、時間が経過しては効果が薄れるので、この時期から取り組んでいただきたい。

もう一つは、空き家バンクの活用についてで、若者の移住を考えると、仕事の問題が一番重要と思われがちですが、ネット社会が浸透した現在では、地方でも都会と遜色のない仕事も多くなっています。その仕事よりも重要なのが住宅の確保であり、八百津町では、平成22年度より空き家バンク制度を発足させ、移住する人のために情報を発信していますが、登録

件数も、利用状況も活発とはいえない状況です。若者世代が求めているのは、居住費が抑えられる空き家物件であり、その両者をうまくマッチングさせるためにも、9月議会の一般質問の答弁で、住宅施策の抜本的な問題解消のために、事務分掌や担当係の見直しも含めた検討をするとの回答をいただきました。若者世代の移住促進の手立ての一つに空き家バンクがあるということを考え、早急に住宅施策専門職員の配置をしていただきたい。

**答** (額部参事) ご質問の宅地開発については、人口減少対策には移住・定住の促進が有効な手段であることは承知いたしております。ただし、土地開発公社による宅地開発行為に基づく付帯施設の整備などで分譲価格が相当高くなることから、現在公社による分譲は考えておりません。

一方、民間主導で行われるミニ分譲などにおきましては、町もできるだけ支援をしてまいりたいと考えております。

また、町営の須賀第二団地は今年度取り壊しが完了いたしましたので、この土地を安価な価格で売り出し、そこに住宅を建て

ていただけるような施策を講じ、今後も町有地の有効活用を努めてまいりたいと思っております。

次に、空き家バンクにつきましては、9月議会でも答弁させていただきましたとおりですが、人口減少対策に通じる事務につきましては、限られた職員定数の中ではございますが、できる限り同じ部署で取り組めるよう、新年度に向けて検討してまいりたいと考えております。

**問** 若者の定住・移住に関して、地域おこし協力隊というものも、都心部からの移住の受け皿となつていっていると思うので、当町で活動している2名の地域おこし協力隊員についても、将来定住していただけるよう取り組んでいただきたいと思うが、町の考えを伺う。

また、福地地区でシェアハウスが開設されると聞いていますが、このシェアハウスは中心となる方が数名の若者とともに、ひとり暮らしの老人の方の長屋部分を改装して住むといったものがあり、本来のシェアハウスの形とは少し違うかもしれないが、空き家に限定しない、この様な形の空き家の利用方法もあるのではないかと思うが考えを伺う。

**答** (額部参事) 当町では現在2名の地域おこし協力隊員が、福地、潮南地区を中心に活動しております。

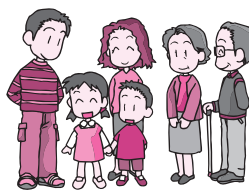
この2人の方々には将来起業し、当町に定住していただきたいと考えており、面接の段階からお願いしております。

また、地域おこしの活動としての定住策、移住策についても地域おこし協力隊員の知恵をお借りし、進めていきたいと思っております。

また、シェアハウスにつきましては、福地の事例を含め、全国の事例や協力隊員、そして町内の若い世代の方々の意見を聞くなどして、実行できるのかどうか、調査研究してまいりたいと思っております。

# Q2 観光の活性化について

## 活性化に繋がる施策を



**問** 杉原千畝記念館へ多くの方が来館しており、この傾向はしばらく続くものと思うが、その多くが杉原千畝記念館だけにとどまり、町の中心市街地や他の観光施設への恩恵が余り見られないことは、大きな問題である。

そこで、人道の丘、杉原千畝

記念館から市街地や観光名所へのアクセス、駐車場がわかる案内看板・標識等の設置を行っていただきたい。この件に関しては、先ほど長谷川議員への答弁の中にあつたので、答弁の必要はありませんが、この他に商店街において、観光PRができるような無料休憩施設の設置について町の考えを伺う。

**答** (藤本産業課長) 商店街の休憩施設につきましては、空き店舗などを利用し、木曾川を眺めながらゆっくり過ごせる観光案内所があると良いのではないかと意見が多く、ぜひ実現したいと考えております。

今行える観光案内所となると、熊野神社付近へテントを設置するもしくは、地元や商店街の皆さんがこの機会を逃さないという熱意で、ご自分の敷地などで取り組んでいただければ、町や観光協会としても、一緒に頑張って応援していきたいと考えております。

**問** 各店舗での答弁がありましたが、観光客が多く集まる店舗を観光PR店舗として委託し、そこにのぼり等を掲げ、観光案内所として協力してもらってはどうか。

**答** (藤本産業課長) 協力していただける店舗があれば、進めていきたいと思っております。



# Q1 八百津高等学校の 存続について

## 現状と取組について

**問** 人口減少に伴い、県教育委員会は可茂地区で将来県立高校を一枚減らす計画があると聞いている。町民にとって高校をなくすことは大変悲しいことです。地元中学からの進学率も、年々増えてきており、存続を願うものである。第1点として、現在、どのような状況なのか。第2点として、今後、存続についてどのような方策で取り組んでいくのか伺いたい。

## 答 (堀部教育長)

1点目の現在の状況については、現段階としては何も決まっていなのが実情です。県は、岐阜県の教育施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「第2次岐阜県教育ビジョン」を策定しました。この中で高校の枠組みの見直しについては「今後、活力と魅力ある高校づくりを進めるために、平成13年の学校改革委員会の答申で示された1学年4から8学級を適正な学校規模とした基本的な考え方をもとに、平成31年度以降の生徒激減に向けた体制整備を検討する。今後の少子化の進展により、適正な学校規模が維持できない可

能性のある高校について、地域や高校の特性、学びの機会の保障等にも配慮しながら、その在り方についての検討を進める。」と述べられています。

そのために県は有識者による「岐阜県立高等学校活性化策定委員会」を設置し、審議と並行して、市町村長や産業界の代表から意見を聞きながら、学区別に意見交換会を開催しています。

平成27年度末までに「高等学校活性化策定委員会」より、今後の高校活性化の方向性についての提言が出される予定でありその提言を受け、県教育委員会としての活性化計画を検討していくことになると思っています。

2点目の存続については、どのような方策を考えているかという点ですが、町として、今3つのことに力を入れています。

1つ目は、八百津高校の魅力づくりへの支援を行うということです。いかに子供たちが入学したい高校にするかが大きなポイントであり、八百津高校は校長先生を中心として、魅力ある学校づくりに励んでいます。「一人一人が大切にされる学校として、人権教育に力を入れていくこと」・「可能性を引き出す企業実習、デュアルシステムを通じて、望ましい職業観を養うこと」・「連携型中高一貫教育実践校として、地域で育ち、地域で学び、地域に貢献できる社会

人の育成を図ること」などです。これらの魅力づくりに対して町・教育委員会として、支援を行っています。

人権教育推進では、町の行事「児童・生徒会サミット」へ八百津高校生の参加を要請したり、4時間にわたって、八百津高校生を対象に「いじめ追放」についての出前授業を行う、また、連携型中高一貫校の活動への支援も大切にしており、教員の交流と子どもとの交流をコーディネートしています。

2つ目は、八百津町の行事に八百津高校生をボランティアなどで活用することの推進です。例えば、サマーフェスタに八百津高校のボート部員・カヌー部員に運営のお手伝いをしてもらったり、小学生を対象にした算数と英語の学習会の折に、ミニ先生として活躍をお願いして、地域に貢献する人材の育成への支援を行っています。

3つ目は、県の幹部との会議等で八百津高校の存続の必要性を訴えることです。赤塚町長は、「八百津町にとって、八百津高校の存在は極めて大きいものがある。八百津高校がなくなることは、子供のためにならない。地域の存亡もかかっている。規模の大小にとらわれず、子供たちの成長のために、地域の活性化のために小規模校も存続すべきである。」と力強く訴えまし

た。

これからも、町として、教育委員会として、八百津高校存続に向けて、努力をしていきたいと思えます。



# Q2 八百津の観光行政 について

## 観光行政への取組は

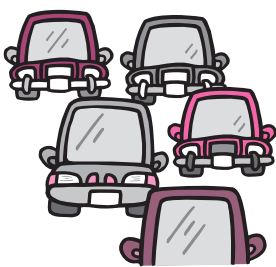
**問** 人道の丘に來られる見学者が大々的に増加し、多くの見学者が來られても、見学時間は、1〜2時間のことで、町内で楽しめる場所、買い物等ができる1時間コース、2時間コースの案内パンフレットをつくって、町内にとどまっていただけでなく、また、町の特産品がたくさんありますので、町の中心地に物産館をつくって、食事も買い物もできるような観光客に喜んでもいただくようにすべきだと思う。また、今後の観光のことを考えると、今から駐車場のこと

も検討しておく必要があると思う。1時間・2時間コースのパンフレットをつくってはどうかということ、将来に向け駐車場の検討をする必要があるのではないかと2点について伺う。

## 答 (藤本産業課長)

観光ルートについては、時間別の観光コースはありません。しかし、基本ルートをつくっておけば、案内する際にも大変有効であると思いますので、観光協会とも提案しながら進めていければと考えています。

次に、駐車場については、11月の混雑時にも大きな苦情もなく対応できておりました。人道の丘公園の中を散策していただいたり、カフェ等の施設も利用していただくためにも、今の駐車場がちょうどではないかと考えております。しかし、今後、さらなるお客様が増えてくるようであれば、当然駐車場も手狭になってきますので、今から調査・検討させていただきたいと思えます。



## 新たに建設文教 常任委員会正副委員長 決まる!

平成27年11月13日の建設文教常任委員会において、委員長の辞任を受け、委員の互選により新たに正副委員長が決まりました。

○委員会名  
建設文教常任委員会

○委員長  
山田 勉

○副委員長  
黒岩 千泰



## 岐阜県立八百津高等学校の存続を求める意見書

全国的な少子化が問題になる中、岐阜県でも県立高等学校の再編が検討されており、わが町の県立八百津高等学校（以下「八百津高校」という。）も対象の範囲内にあると聞き及んでいます。

八百津高校は昭和18年に八百津高等女学校として設置され、昭和23年に県立八百津高等学校となり定時制課程も併設され、地域の人々の大切な学び舎として伝統を受け継いできました。さらに平成16年度からは連携型中高一貫教育を開始し、さらに平成28年には町内各企業・事業所の協力を得たデュアルシステムによる企業実習も始まります。また、学生達は当町の地理的条件を活かした部活動で八百津町の知名度を上げ、八百津祭りなど地域の行事に積極的に参加をし、住民との触れ合いによる地域の活性化、商工業の発展に大きな役割を果たしています。

本町のように私学も無く、しかも鉄道も無いなど公共交通機関が十分でない通学不便地域の者でも教育は平等に与えられるものであり、教育の場が都市部に集中することは過疎地をさらに限界集落へと追い込むことになり、地元で高等学校が必要不可欠と考えますので、画一的な統廃合はせずに地理的要件に配慮して当校を是非とも存続していただくよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年12月15日

岐阜県八百津町議会

岐 阜 県 知 事 様                      岐 阜 県 教 育 長 様

町民の  
みなさん

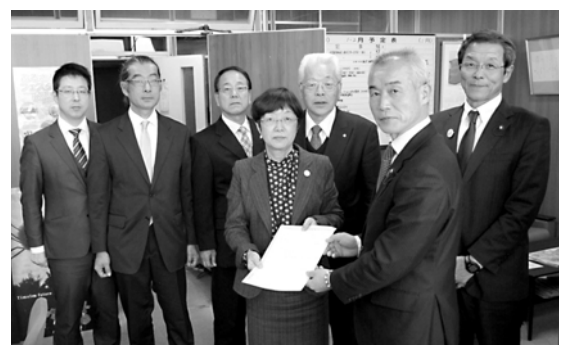
## 八百津町議会を

## 傍聴してみませんか!!

### 3月定例会は 3月4日(金)開会の予定です

詳細は議会事務局までお問い合わせください ☎ 43-2111(内線2302)

一般質問の様子はCCNet(地デジ12ch)で生中継・録画放送されます



1月19日 松川教育長に意見書を提出